



《校訓》 明朗 剛健 創造

太田中だより

平成29年7月26日発行 厚岸太田中学校 第5号

チャレンジ 挑戦

校長 近藤 伸哉

昨年4月に、本校に着任してから、早や1年と4ヶ月が立とうとしています。その時から、生徒達に訴えてきた「3つのC」、**Challenge (チャレンジ 挑戦)**、**Communicate (コミュニケーション 意思疎通)**、**Create (クリエイティブ 創造)**の話の**Challenge (チャレンジ 挑戦)**について、再び今回はお伝えします。

当たり前の話ですが、**Challenge (チャレンジ 挑戦)には失敗がつきものです。**今までの自分の殻を破り、新しいことに取り組むわけですから、失敗する確率もかなりあります。多くは、成功確率50%（ということは失敗する確率も50%）、場合によっては成功する確率が30%未満のこともあります。ですから、いろいろなことにどんどん**Challenge (チャレンジ 挑戦)**するためには、「失敗することを恐れない」勇気を持つことが大切です。

世の中の進歩はめざましく、家電製品1つをとってみても、次から次へと新しい商品が開発されて製品化されていきます。例えば、洗濯機、昔は二層式（洗う層と脱水する層がわかれていた洗濯機・・・今の中学生はわからないのかもしれませんが・・・）、そして自動洗濯機（1層で脱水までできる洗濯機）、乾燥機もついたドラム式・・・というようにどんどん進化しています。電気会社に勤める友人から聞いた話ですが、これらの新商品は、数多くの試作品を作り、何百、何千という失敗を経て、開発されてきた物です。つまり、数多くのチャレンジ、失敗があつてこそ、できあがった物です。「失敗を恐れずに、Challenge (チャレンジ、挑戦)する試み」があつたからこそ、為し得た物です。

1学期の間、生徒の皆さんは、どれだけ「失敗することを恐れずに、Challenge (チャレンジ、挑戦)する」ことができたでしょうか？

先月号でも書きましたが、部活動の試合中、多くの勇気あるChallenge (チャレンジ、挑戦)したプレーを見ることができました。他にも、授業中、委員会活動、運動会などの行事での取組など・・・

また、日常の生活の中で、いろいろな人との関わりの中でも、悪気はないのに失敗したり、間違ったりしてしまうこともあつたかと思えます。人間ですから、そういう失敗があつても当然です。大事なものは失敗をしてしまったら、それを素直に認めたり、相手があることなら相手にすぐに謝ったりすることです。失敗して起こってしまったトラブルを自分達で解決することも含めて、そういう経験を通して今後よりよく成長していければいいと思います。

さて、いよいよ明日から25日間の夏休みになります。1日1日を有効に活用し、いろいろなことにChallenge (チャレンジ、挑戦)してみてください。

保護者、地域の皆様には、1学期間、太田中学校の教育活動に対してご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。また、夏休み期間中も、子ども達に対して「自分で考えて、行動する」機会を作ったり、見守ったり、指導して頂けると助かります。引き続きご支援のほどをよろしくお願ひいたします。

釣れた!作った! 宿泊 おいしかった! 研修

7月11日(火)～12日(水)に、釧路市音別町のこころみで、宿泊研修を行いました。

1日目は生憎の曇天でしたが、溪流釣りでは曇天の効果があつたのか、2・3年男子3名がチャレンジし、全員たくさんのヤマメやイワナを釣ることができました。その他にも、それぞれの体験班で、パン・ピザ・ソーセージづくり、トールペイント、キャンドルづくりなど、普段学校ではできない事にチャレンジして頂くことができました。



デイブ先生、お元気で!

4年間、厚岸町のALTとして活動していたデイブ先生が、この7月で任期満了となりました。

英語の時間だけでなく、一緒にスポーツをしたり、スキーに行ったり、運動会や文化祭も見に来てくれたりと、いろいろな場面で一緒に活動してくれました。

また、どこかで逢うことがあるかもしれませんね。その時は、皆さんから「Hi! Dave!」と元気に声をかけられるといいですね。



夏休みに向けて

明日から夏休みですが、次のことにご留意ください。

1. 規則正しい生活を!

暑いからドラドラしたい...と思いませんか?朝の涼しい時間帯を有効利用できると、健康にも良いのです。

夏休みに入っても「早寝・早起き・朝ごはん」です!

2. 命を大切にしよう!

夏は蒸し暑いだけに、熱中症や脱水などの危険もあります。外に出るときは、帽子やタオル、水やスポーツ飲料などを準備しましょう。

また、プールや海に行く人は、水の事故に気をつけましょう!

3. 非行をおこしません!

わずかな気の緩みが非行につながります。「これくらい大丈夫」は「非行への第一歩」と意識しましょう。

※事故や入院など、万が一何かあった場合は学校(担任)に連絡をいただくと幸いです。

8月の行事予定

日	曜	学校行事
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	山の日
12	土	
13	日	
14	月	豊受神社例大祭
15	火	豊受神社例大祭
16	水	豊受神社例大祭
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	2学期始業式 バス乗車指導
22	火	
23	水	研修 ALT 図書バス
24	木	委員会
25	金	芸術鑑賞
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	Lタイム
30	水	学カテスト(1・2年) ALT
31	木	委員会

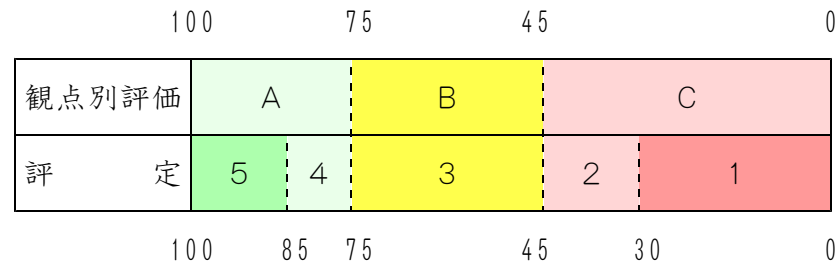
教頭の独り言 あっという間に、1学期も終わりを迎えました。明日からは、25日間の夏休みに入ります。休み中は学校とは違い、自分で時間の管理をしなければなりません。こんな時だからこそ「早寝・早起き・朝ごはん」を心掛けて、規則正しい生活を送りましょう。

☆通知表の評価・評定のつけ方・見方☆

【観点別評価と評定について】

観点別評価・・・各教科の各観点別にA・B・Cで評価します。
 本校では、達成度や得点の75%以上をA、45%未満をCとしています。
 ※普通に授業を受けているのは、基本的にBとなります。
 ※教科によって、4～5の観点があります。

評定・・・各教科の各観点の評価の合計をもとに、5～1で評定します。
 本校では、観点別評価の合計点を下図のように分けて評定しています。



【評価・評定のつけ方・見方】

教科によって、各観点の重み付けが違ったりしますが、基本的な考え方は以下のようになっています。

観 点	満 点	素 点	①	②	③	④	⑥
			割合(%)	評価	重み	ポイント	評定
意欲・態度	70	56	80	A	25	20.00	3
思考	120	60	50	B	25	12.50	
技能	250	183	73	B	25	18.25	
知識・理解	270	203	75	A	25	18.75	
合計					100	69.5	

- ① 教科の観点毎に「素点÷満点」で割合を求めます。
素点には、テストの点数、授業態度、提出物、作品の評価、等が入ります。
- ② ①で求めた割合によって観点別の評価（A～C）が決まります。
- ③ 教科によっては、観点の重み付けがちがいます。基本的に5教科は1:1:1:1ですが、美術や音楽、保健体育では発想や技能を重視します。教科によって重視する観点到重み（15～40）をかけています。（合計が100になる）
- ④ 「重み×割合」で、観点毎のポイントを算出します。
- ⑤ ④のポイントを合計します。
- ⑥ ⑤の数値によって、評定（5～1）が決まります。

《保護者の皆さんへのお願い》

1学期の通知表の結果に一喜一憂するのではなく、結果についてお子様とじっくり話し合い、夏休み中にどこを重点的に学習するかを相談し、二学期に向けた学習への意欲を高めてあげてください。どうぞよろしくお願ひいたします。

【Q & A】

Q 1 私もAさんも観点別評価はB B A Bなのに、私は3で、Aさんは4。どうして観点別評価が同じなのに評定が違うのですか？

A 1 割合が45%でのBも74%でのBも同じBになるからです。

私の場合

観 点	重み	%	ポ イ ント	評 定
意欲・態度	25	50	12.50	3
思考	25	45	11.25	
技能	25	80	20.00	
知識・理解	25	60	15.00	
合計	100		58.75	

Aさんの場合

観 点	重み	%	ポ イ ント	評 定
意欲・態度	25	70	17.50	4
思考	25	70	17.50	
技能	25	95	23.75	
知識・理解	25	70	17.50	
合計	100		76.25	

観点別評価の結果は、同じ「B B A B」ですが、それぞれの観点の割合が違うので、ポイントの合計が評定が変わってきます。そのため評定が違う結果となります。

Q 2 数学も英語も観点別評価はB B A Bなのに、数学は3で、美術は4。どうして観点別評価が同じなのに評定が違うのですか？

A 2 教科によって観点の重み付けが異なるからです。

C教科の場合

観 点	重み	%	ポ イ ント	評 定
意欲・態度	25	65	16.25	3
思考	25	65	16.25	
技能	25	90	22.50	
知識・理解	25	70	17.50	
合計	100		72.50	

D教科の場合

観 点	重み	%	ポ イ ント	評 定
意欲・態度	25	65	16.25	4
思考	15	65	9.75	
技能	40	90	36.00	
知識・理解	20	70	14.00	
合計	100		76.00	

観点別評価の結果は、同じ割合ですが、教科によって、重み付けが違うため、それぞれの観点毎のポイントが変わり、合計も違ってくるので、評定が異なる結果となります。

Q 3 「関心・意欲・態度」はどんなところを見られているのですか？

A 3 教科によって若干の違いはありますが、基本的には日常の授業態度や提出物、ノート・ワーク等の点検などで評価されます。

関心・意欲・態度はテストだけでは評価できないところですので、日常の授業の様子や、提出物等で評価されます。

特に授業の様子では、積極的な学習への取り組みが評価対象となりますが、挙手や発表だけでなく、真剣に課題と向き合っているか等も評価されるポイントです。逆に授業中の過度な私語等は減点対象になってしまいます。

関心・意欲・態度の評価が思った程でなかったという人は、授業中に真剣に取り組んでいるか、提出物が期日までに提出されているか、等、見直してみましょう。

